

副教材（公的年金保険①）

厚生労働省 政策統括官（総合政策担当）

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

I 時間目

社会保障について考えてみよう

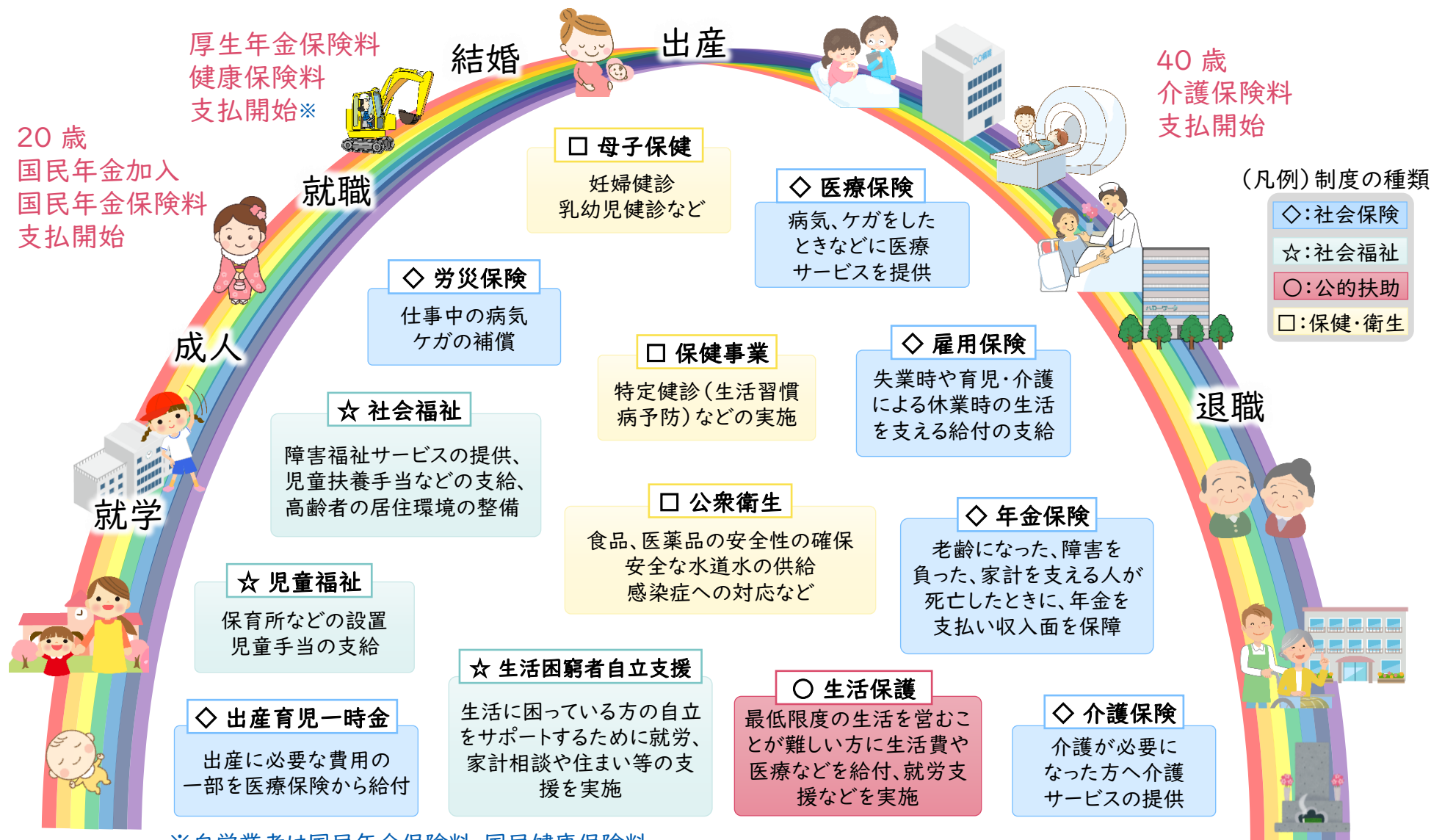
ひと、くらし、みらいのために



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

わたしたちの生活と社会保障制度

わたしたちの安定した生活に欠かせない社会保障制度。日々の「安心」の確保や生活の「安定」を図るための制度であり、一生を通じてわたしたちの生活を支える役割を担っています。



社会保険とは

「保険」とは、誰もが人生のなかで遭遇する可能性のある様々なリスク（病気・ケガ・退職、長生きによる収入減少など。）に備えて、人々が集まって集団（**保険集団**）をつくり、あらかじめお金（**保険料**）を出し合って、リスクに遭遇した人に必要なお金やサービスを支給する仕組みです。

社会全体でこのような「保険」の仕組みを作るのが「**社会保険**」です。

社会保険がないと・・・



社会保険があれば・・・



- ・「医療保険」は、病気やケガなどで通院や入院をしたときなどに給付され、国民全員が加入しています（国民皆保険）。



- ・「年金保険」は、収入減少というリスクに対して収入面で保障する制度で、長生きをした（老齢年金）、障がいを負った（障害年金）、親など家計を支えていた方が亡くなった（遺族年金）ときなどに受給できます（国民皆年金）。



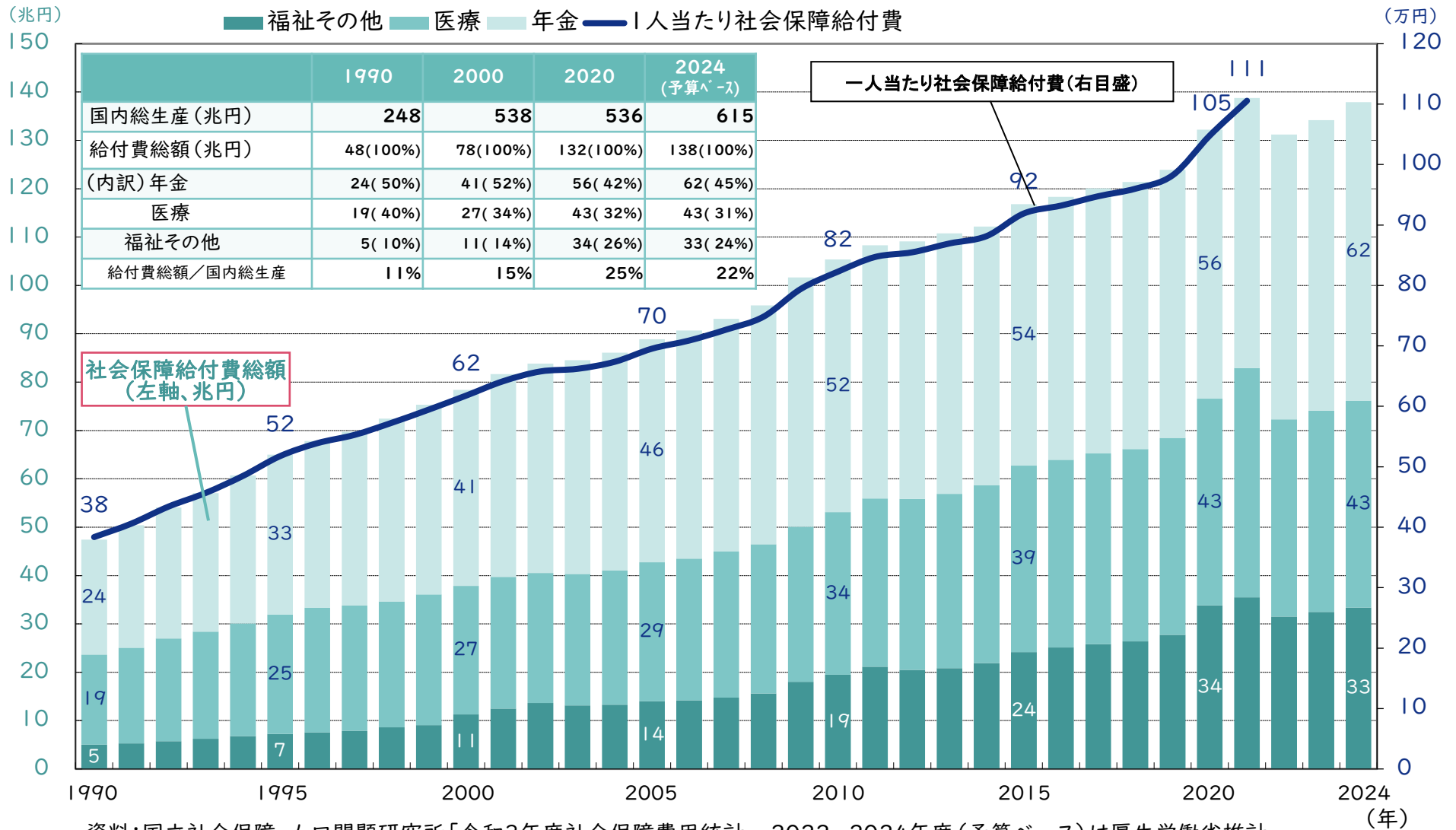
障害年金・遺族年金は、
若くても、要件を満たせば、
年金受取の対象となります。

- ・「介護保険」は、高齢者の介護サービスを提供しています。



これらの社会保険制度は、皆さんが支払う保険料（収入に応じて負担）と税金で運営され、
社会全体で支え合う仕組みになっています。

社会保障給付費の推移

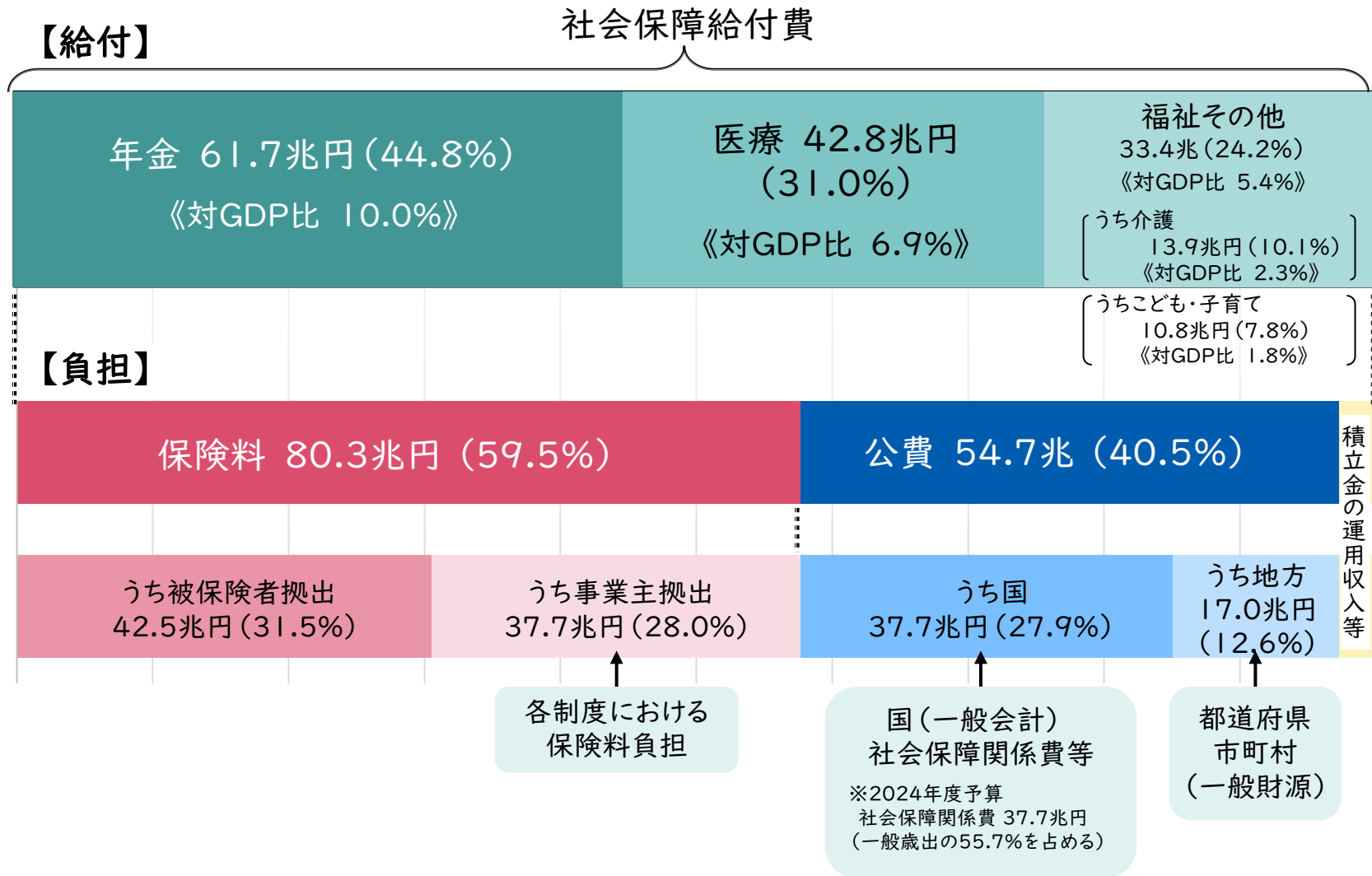


資料: 国立社会保障・人口問題研究所「令和3年度社会保障費用統計」、2022~2024年度(予算ベース)は厚生労働省推計、
2024年度の国内総生産は「令和6年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度(令和6年1月26日閣議決定)」
(注) 図中の数値は、1990, 2000, 2010, 2020及び2021並びに2024年度(予算ベース)の社会保障給付費(兆円)である。

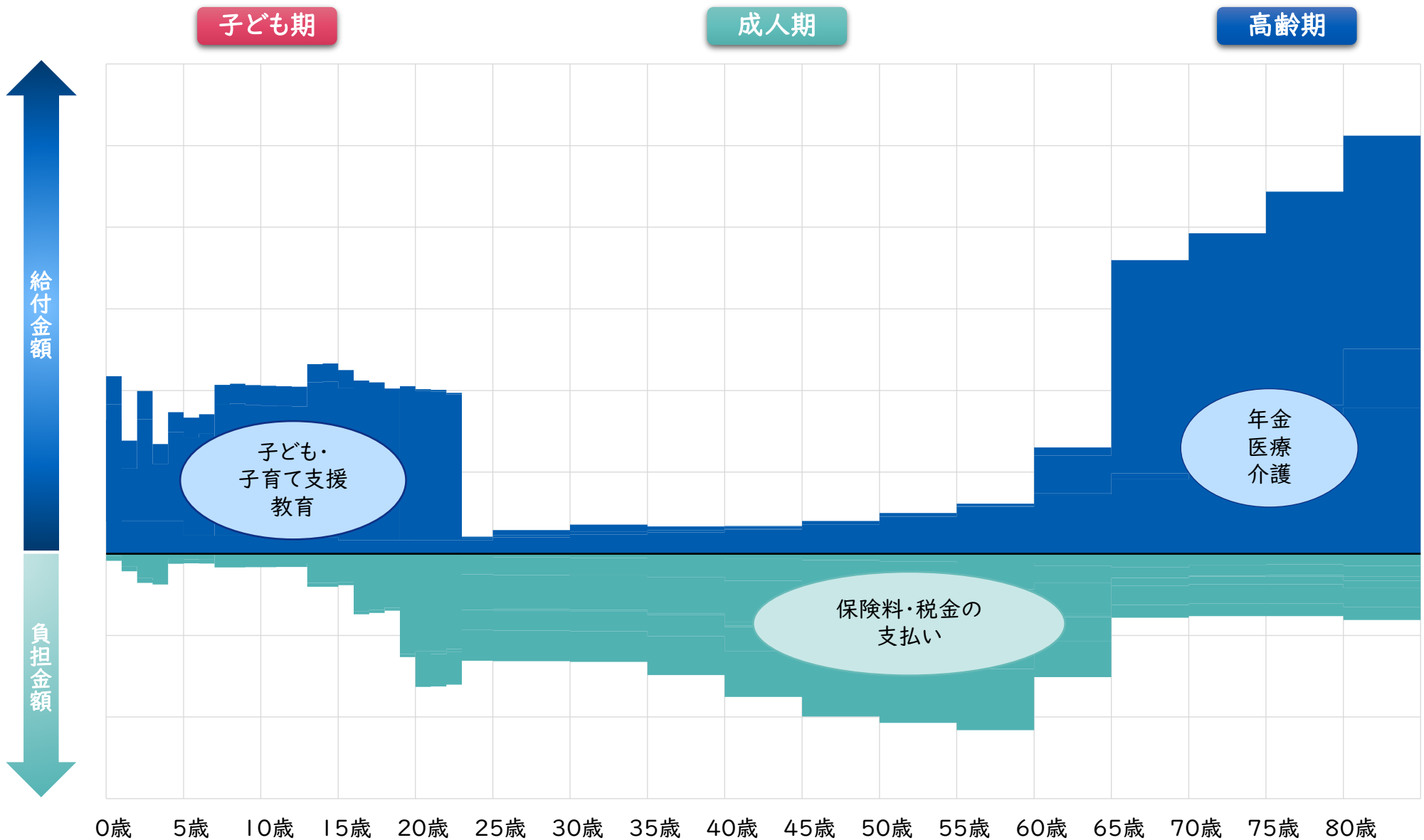
(注) 計数は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計と合致しないものがある。

社会保障の給付と負担の現状（2024年度予算ベース）

社会保障給付費 2024年度（予算ベース） 137.8兆円（対GDP比 22.4%）



社会保障の給付と負担のイメージ



資料出所:各種統計を基に、厚生労働省において推計。

(注) 令和2年度(データがない場合は可能な限り直近)の実績をベースに1人当たりの額を計算している。

社会保障制度を支える主な「職業」

- ✓ 社会保障制度を支える職業には様々あり、雇用を創出して経済を支えています。
- ✓ 身近な人が就いている職業や、将来やってみたい職業などに○をつけてみましょう。



公的年金保険について考えてみよう

ひと、くらし、みらいのために



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

年金制度の設計の考え方

- ✓ 我が国の年金は、3階建ての構造。1・2階部分の公的年金が国民の老後生活の基本を支え、3階部分の企業年金・個人年金と合わせて老後生活の多様な希望・ニーズに対応。

私的年金

老後生活の多様な希望やニーズに
応える役割

3階

企業年金・
個人年金 (iDeCo)

公的年金

老後生活の基本を
支える役割

2階

厚生年金

(報酬比例年金、男子平均
報酬40年加入で
月額94,483円
(令和6年度))

サラリーマンを対象
とした報酬額に比
例した給付

1階

基礎年金

(月額68,000円
(令和6年度))

全国民共通の給付

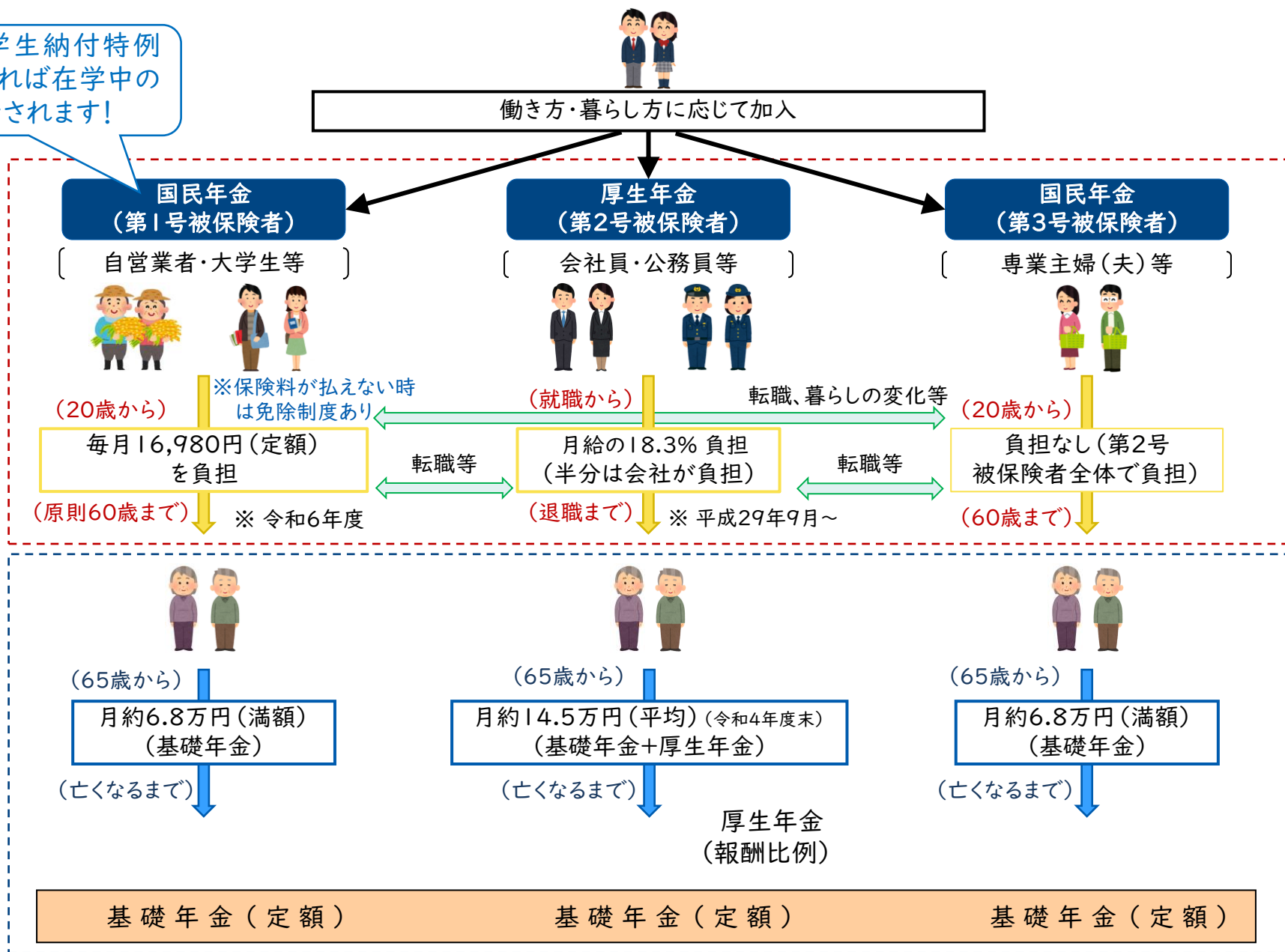
厚生年金と夫婦2人分の
基礎年金(満額)を合わせて※
現役期の手取り収入の
50%を確保(現在は60%強)

(※) $68,000 \times 2 + 94,483$
= 230,483円

公的年金保険とライフコース

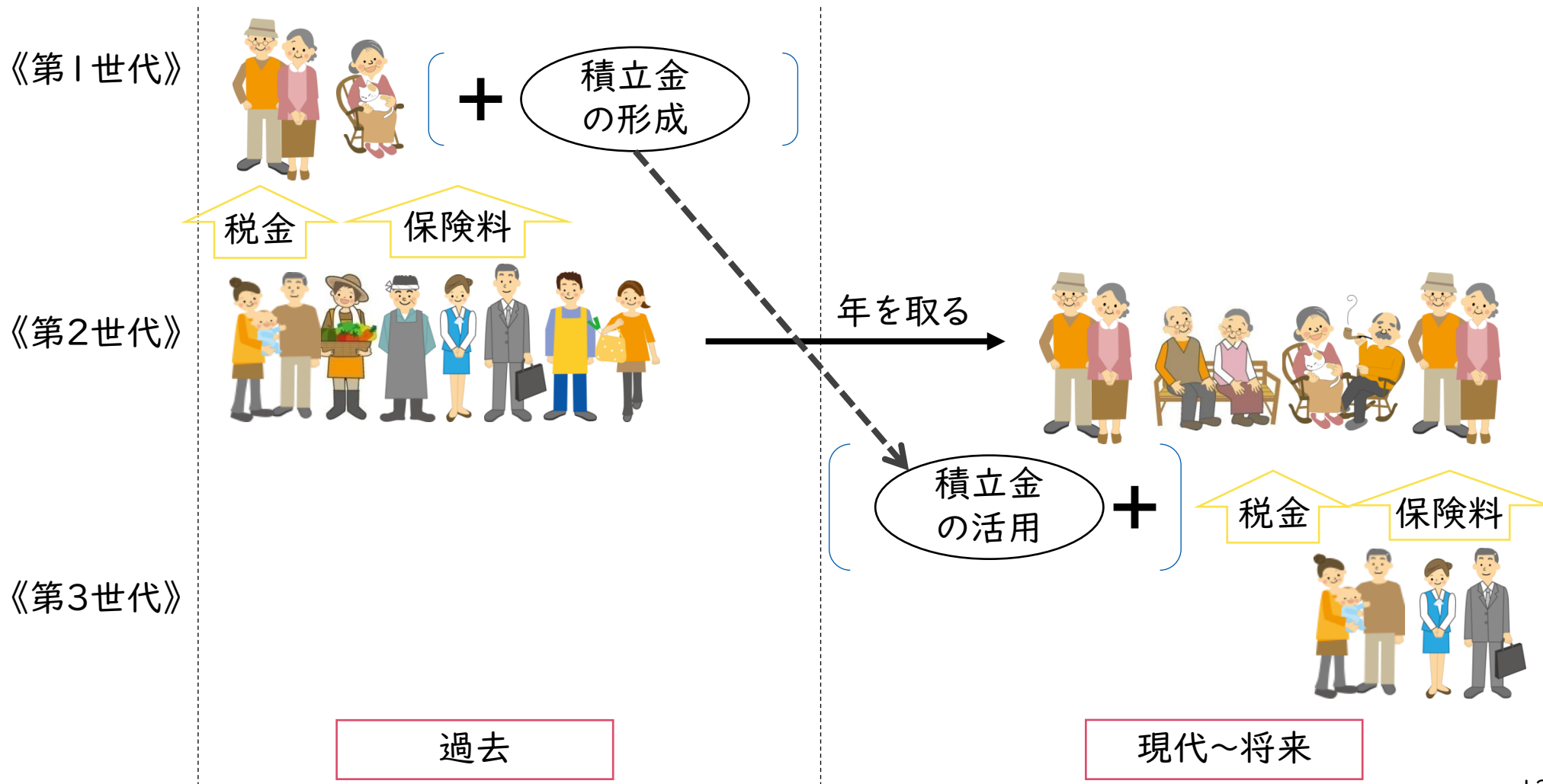
学生時代は学生納付特例制度を申請すれば在学中の保険料が猶予されます！

【現役時代】
保険料を負担



公的年金保険は、「仕送り」を社会化したもの

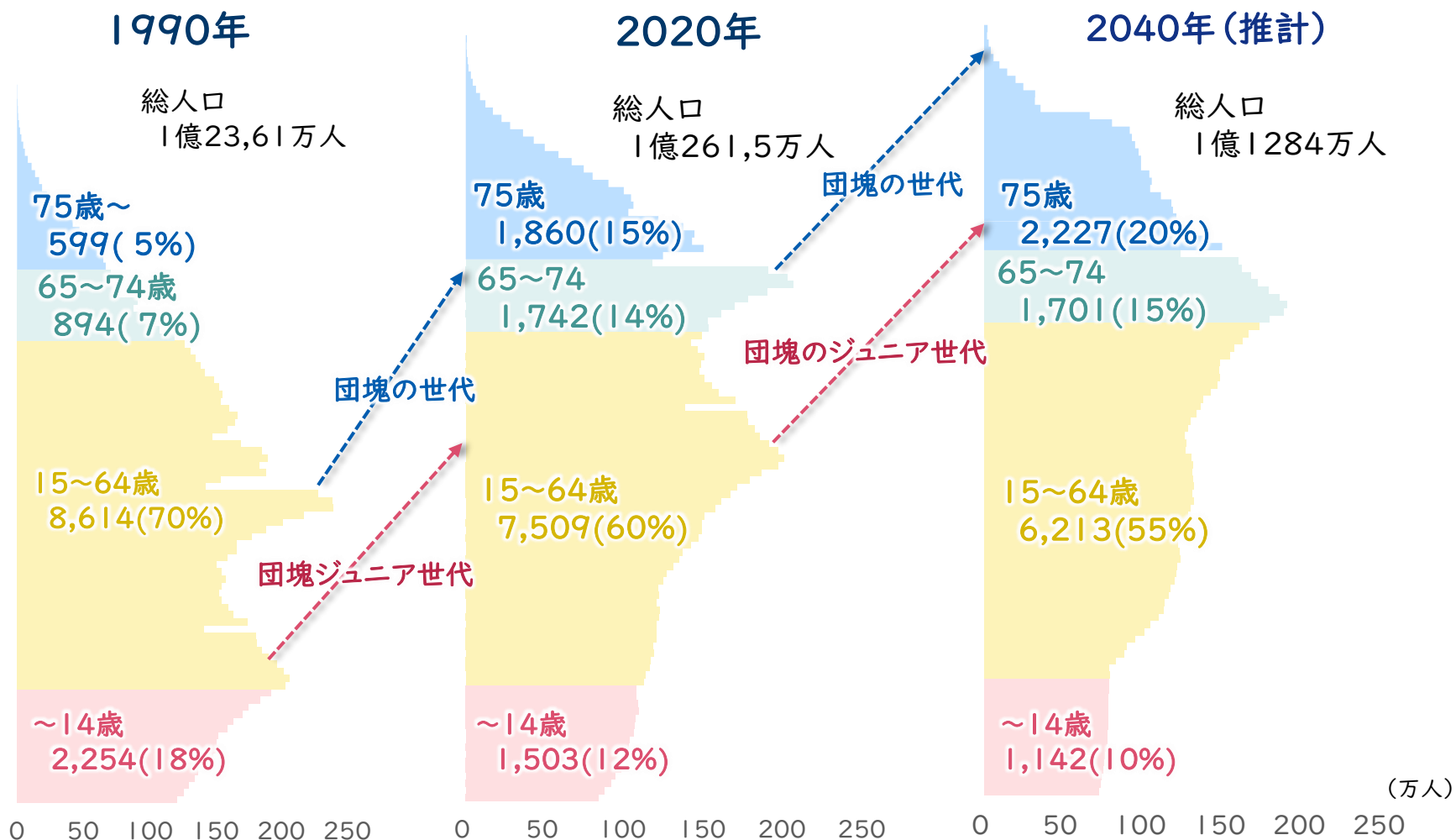
- 日本を含め先進各国の公的年金保険は、いずれも、現役世代が納めた保険料をその時々の高齢者の年金給付に充てる仕組み（＝賦課方式）を基本とした財政方式となっている。
- なお、我が国においては、将来の高齢化の進展に備え相当程度の積立金を保有し、その活用により、将来世代の保険料水準が高くなりすぎないように配慮している



2時間目

日本の人口ピラミッドの変化

✓ 団塊ジュニア世代が65歳となる2040年には、65歳以上が全人口の35%となる。



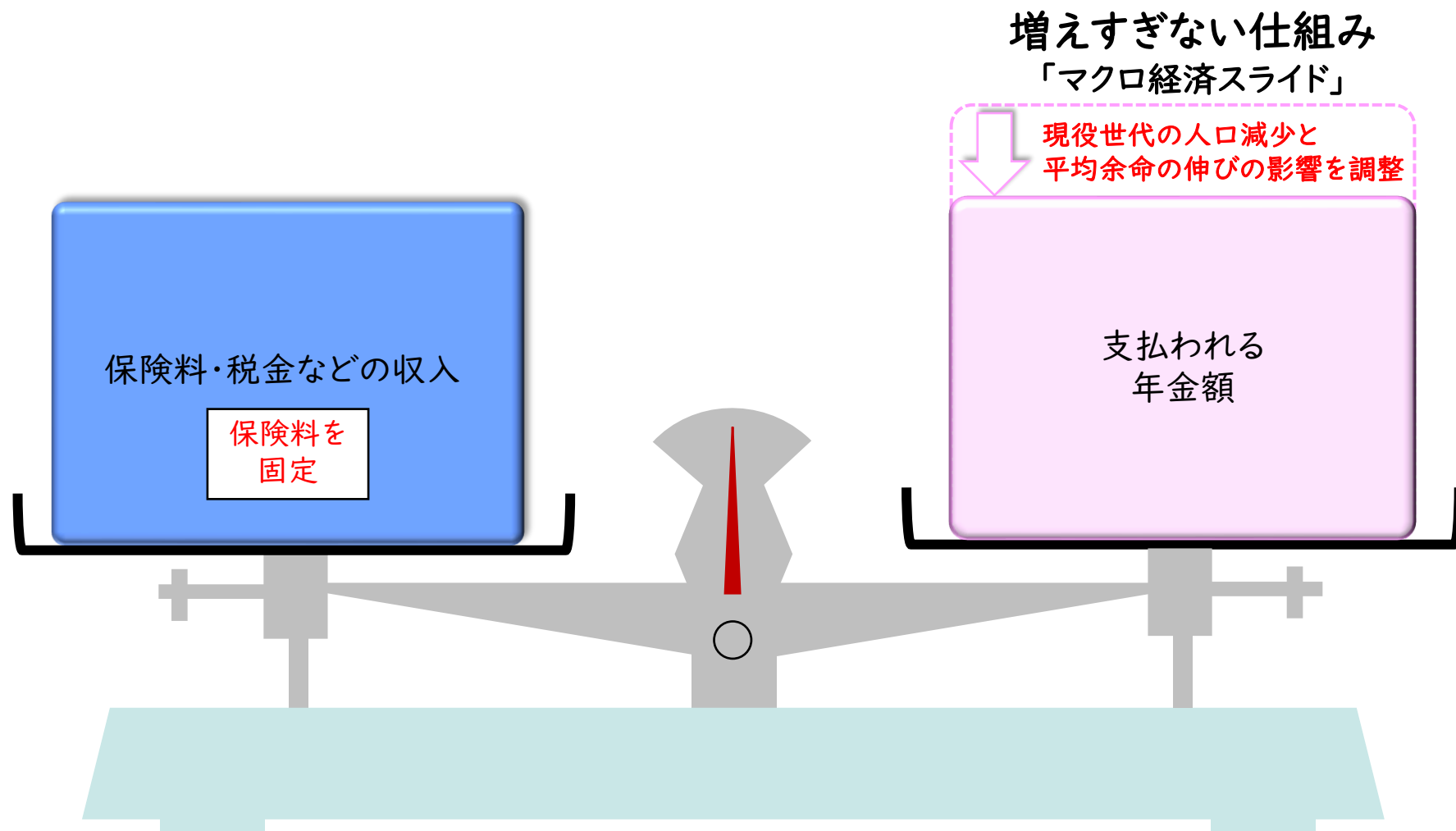
(出所) 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」「出生中位(死亡中位)推計

現在の公的年金保険について

✓ 公的年金保険は、現役世代が支払う保険料をその時代の年金給付に充てています。

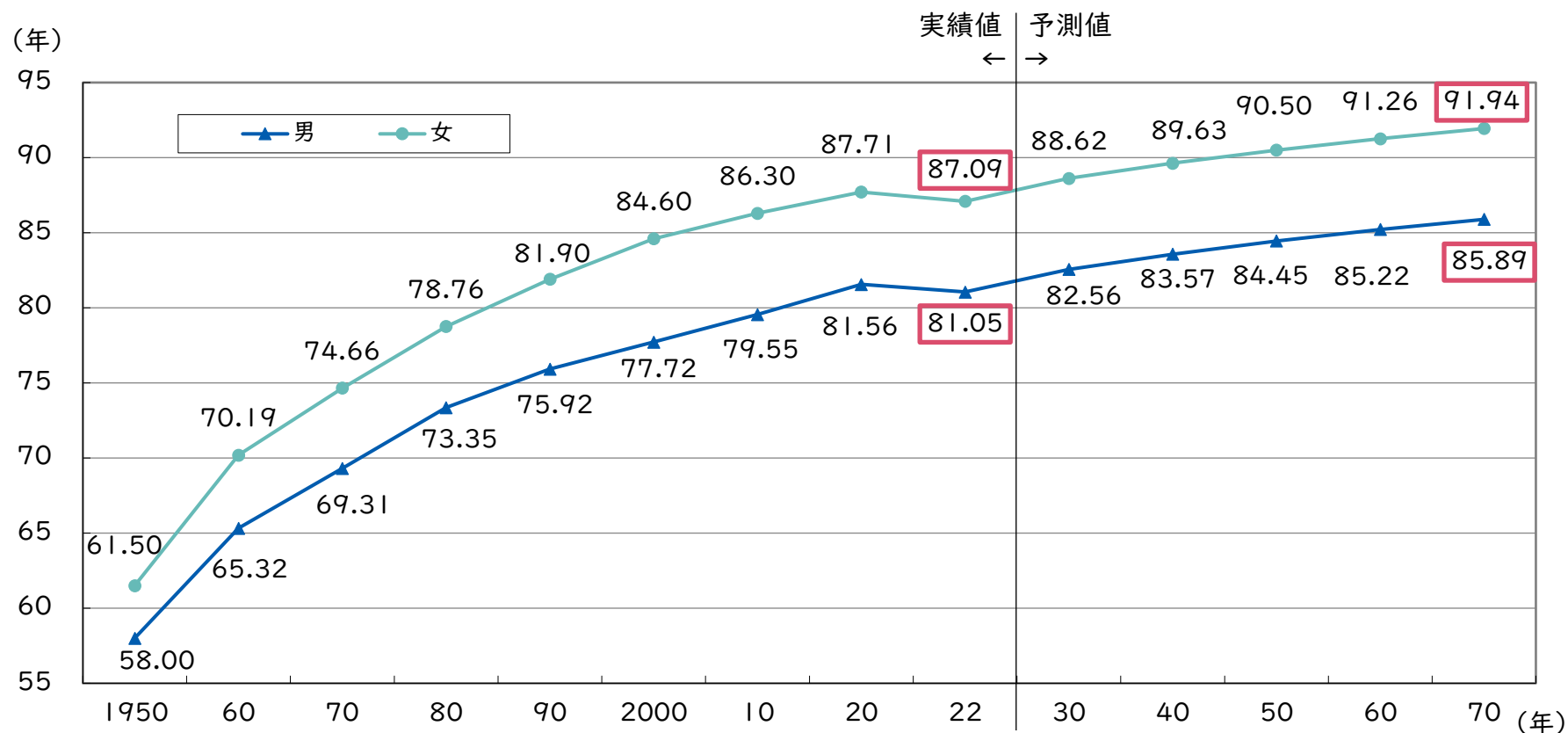
✓ そのため、

- ・ 支払われる年金額が増えすぎないように、自動調整する仕組みが組み込まれ、
 - ・ それを賄うための保険料は、負担に上限が設定されるなど、
- 将来にわたって安定した制度設計になるようにしています。



平均寿命の推移と将来推計

- ✓ 我が国の平均寿命は、令和4年現在、男性81.05年、女性87.09年となった。
- ✓ 今後、男女とも平均寿命は延びて、2070年には、男性85.89年、女性91.94年となり、女性は90年を超えると見込まれている。



資料：1950年、2022年は厚生労働省「簡易生命表」、1960年から2020年までは厚生労働省「完全生命表」、
2030年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」の死亡中位仮定による推計結果
(注) 1970年以前は沖縄県を除く値である。0歳の平均余命が「平均寿命」である。

(出典) 内閣府「令和6年版高齢社会白書」

副教材（公的年金保険②）

厚生労働省 政策統括官（総合政策担当）

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

家族をめぐる代表的な変化

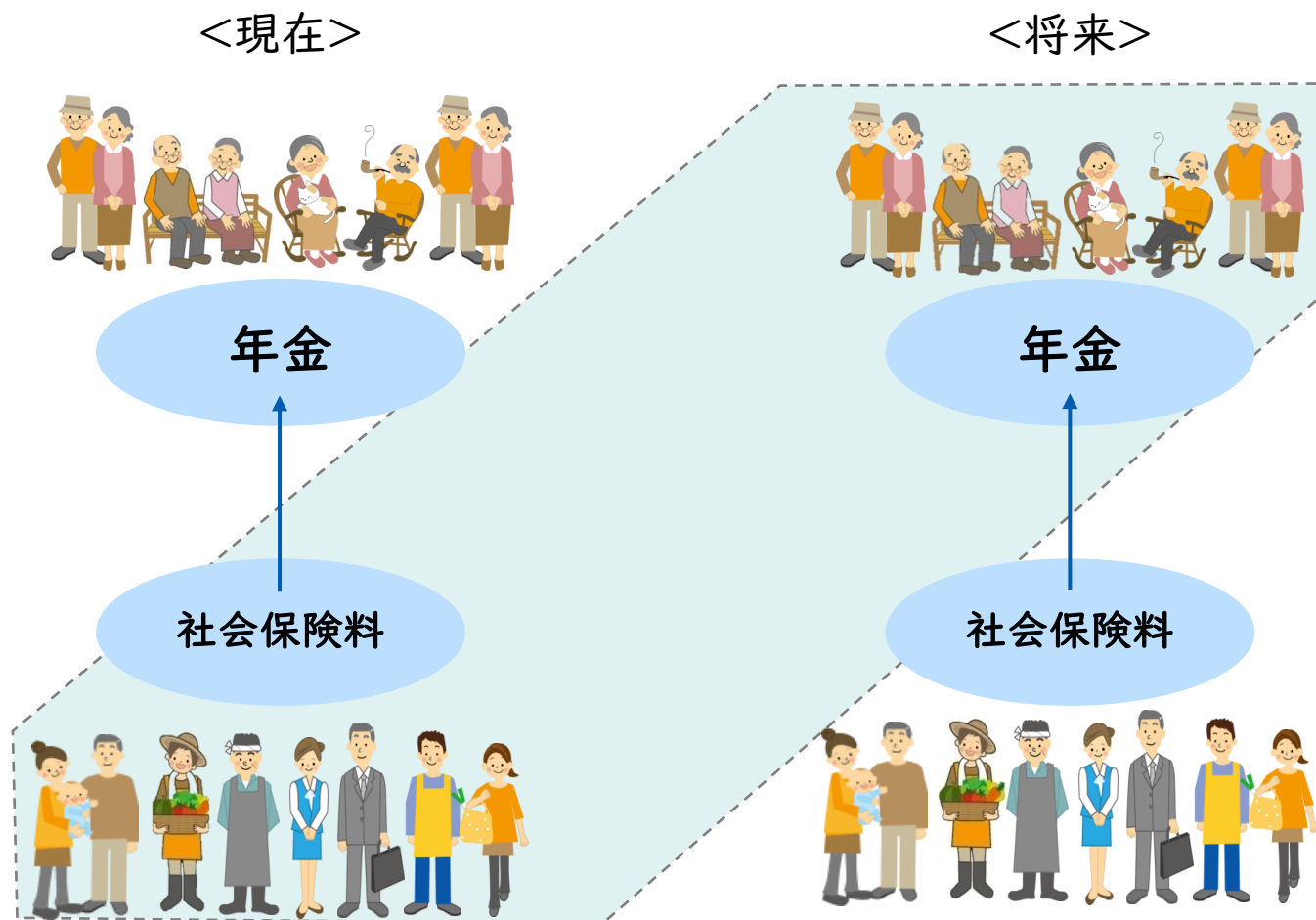
	昔(1960年)	現代(2021年)
三世代同居世帯数	852万*	256万
高齢者単身世帯数	61万 (1975年)	742万
家族の人数	4.13人	2.37人
平均寿命	男65.32歳 女70.19歳	男81.56歳 女87.71歳 (2020年)
サラリーマンの割合	53.4%	89.6%

資料:厚生労働省「国民生活基礎調査」、厚生労働省「完全生命表」、総務省「労働力調査」

*1960年は「その他世帯」を含んだ数値。

公的年金保険は、「仕送り」を社会化したもの

日本を含め先進各国の公的年金保険は、いずれも、現役世代が納めた保険料をその時々の高齢者の年金給付に充てる仕組み（＝賦課方式）を基本とした財政方式となっている。



今と昔の物価の違い

品 目		1965年 → 2020年	
鶏肉	100g	71.8円	128円(1.8倍)
牛乳	瓶1本	20円	133円(6.6倍)
カレーライス	1皿	105円	714円(6.8倍)
コーヒー(喫茶店)	1杯	71.5円	512円(7.2倍)
ノートブック	1冊	30円	162円(5.4倍)

資料:総務省「小売物価統計調査」